



元気 いっぱい
楽しみ いっぱい
手作り いっぱい

みんなの議会



おかげさまで

第 80 号

2026.2.1

「サステナブル実行委員会」と出展者の皆さん

今号の Topics

中学生議会 … P 3
議会報告会 … P 6



中学生議会

in 東吾妻中学校

11月20日木曜日、東吾妻中学校にて、中学生議会を開催しました。議員が中学校へ出向いて3年生全員と交流を深めたのは3年連続です。若い感性に刺激を受けるとともに、中学生に町議事を身近に感じてもらうとてもよい機会となりました。

議会報告

3年生全員に集まっていた各議員の自己紹介の後、町議会の組織概要や役割、各委員会がどんな分野でどんな活動をしているか、議長や委員長が報告を行いました。中学生の皆さんも真剣に説明を聞いていました。



みんなちょっと緊張してるかな

卒業研究発表

各議員1人に6～9名の班に分かれて『住民が誇りを持って暮らすまちへの提言』と題して卒業研究発表を行いました。それぞれのグループが自分たちで考えた研究テーマに沿った意見や考えを発表し、議員が感想やアドバイスを述べました。
(中学生からの提言は次ページ)



PCを使ったプレゼンに感心

懇談会

卒業研究発表の後、クラスに分かれて議員との懇談会を開催しました。中学生から議員に対し、普段の生活で感じていることや、疑問に思っていることなどを質問し、また議員から中学生たちに質問するなど、和やかに懇談会が開催されました。中学生からの意見は、委員会などで協議し、町へもつないていきます。



リラックスして議員と懇談



サステナブルで、町に活気を！

あなたのゴミとアクションが、子どもの喜びに！

群馬原町駅周辺を盛り上げようと2023年秋に発足した「サステな〇〇実行委員会」は、「サステなマルシェ」を2年間で8回開催しています。今回は実行委員会の田中静会長・天沼諒真さん・長塚菜摘(山田籍)さん・樹下陽示さんに伺いました。

問 そもそも、何ですか、このネーミングは。

田中 「サステ」は「サステナブル」からとりました。「サステナブル」とは、今ある資源や豊かな生活を将来にわたって壊さずに次世代へ引き継ぐことを言います。この目標「SDGs」で町を盛り上げようと思い、この団体を作りました。

天沼 紺屋町区の若連が行っているリサイクル資源を回収して区の育成会活動などに還元する取り組み「リサイ紺」という地域活動をお手本にしました。

問 SDGsで原町の活性化に取り組んでいるわけですね。「〇〇(まるまる)」とは。

長塚 「〇〇(まるまる)」はマルシェだけでなく、いろいろな切り口でやっていきますよというSDGsの多様性を意識しました。17あるSDGsの目標のうち、11番「住み続けられるまちづくりを」12番「つくる責任 つかう責任」を一緒にしたハイブリッドな地域活性化です！

一同 おおー。言い切った！（拍手）

問 どうやって資源ゴミを集めていますか。

天沼 町建設課の協力により群馬原町駅前にアルミ缶回収ステーションを常設。活動に賛同した方がアル

ミ缶を持ってきてくれます。マルシェ時には、出店者に出店料として資源ゴミを持ってきてもらい、お客さんにも持ち寄ってもらっています。もうゴミなんて言えません。資源です。

問 その資源リサイクルによって生まれたお金は何に使っていますか。

田中 夢を買っているんです！

樹下 補足します。マルシェで抽選会を行なっています。その景品を買うお金などのイベント費用になっています。町内商店で調達しているので商店のみなさんにも喜んでもらっています。マルシェ当日には持ってきてくれた資源ゴミの量に応じて抽選券を配布しています。子どもたちがアルミ缶ギッシリの袋を担いで来ます。そういう意味で資源を夢に換えています。

問 素晴らしい取り組みですね。マルシェの内容は。

長塚 町内を中心としたキッチンカー、農産物販売、ハンドメイドグッズ販売、ワークショップがずらり。ペットのためのサービスやヨガ、資源会社さんら企画に賛同する企業のPR、フリーマーケットなど。昨夏からは原町小児童による起業体験チャレンジショップも始まりました。

問 小学生と協働とは会長おっしゃるように夢のあるイベントですね。今後はどんなサステになりますか。

田中 サステな東吾妻町です！この素晴らしい町をいつまでも残したい！

一同 おおー！さすが会長、素晴らしい締め！

みんなの声を議会だよりに

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。

gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp

「住民が誇りを持って暮らすまち」への提言

中学生議会
卒業研究



卒業研究発表や議員との懇談会で出された、中学生の皆さんからの主な提言です。普段の学校生活や住んでいる地域の中で、思っていること、感じていることなど、さまざまな提言をいただきました。

～学校・教育環境について～

- 静かな環境で勉強できる施設がほしい
- 図書館機能を含めた複合施設を作ってはどうか
- オンライン自習室の開設をしてほしい
- 学校施設の開放をしてほしい
- グラウンドに照明設備がほしい
- エアコンや電波時計などの設備を整備してほしい



中央公民館 学習スペース



中央公民館
子ども向け読書スペース

～子育てやお年寄りについて～

- 子育て中の親がリラックスできる、カフェのような場所があったら良いのでは
- 小さい子どもが遊べて、安心して預けられる場所がほしい
- お年寄りへの宅配、お弁当のサービス

～空き家対策について～

- 農家に協力してもらい、農業体験をしながら空き家を利用してもらう
- 空き家を安く利用してもらえば移住者が増えるのでは
- 空き家をリフォームして、移住の支援をする



～地域の活性化について～

- スポーツフェスティバルを開催してほしい
- ふるさと祭りを復活してほしい
- ウェブ参加型のイベントを開催してみてもいいのでは
- 町民運動会の開催
- 上信道の結節点にコンビニや道の駅を設置してはどうか
- 群馬原町駅前の活性化を



ふるさと花火



～安心安全な町づくりについて～

- 高齢者や要支援者の災害時対応を
- 専門家を呼んでクマ対策教室の開催
- クマ鈴やクマ出没マップの配布

議会報告会開催

with cafe

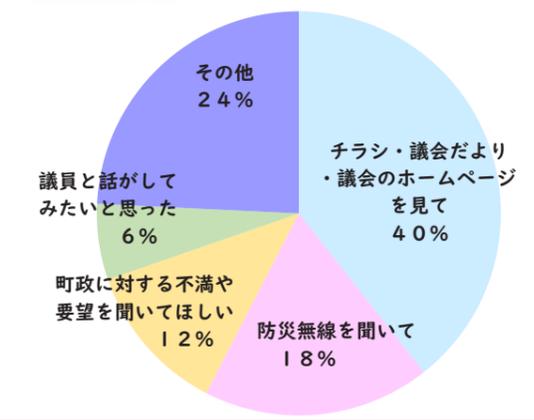


令和7年議会報告会を11月9日にコンベンションホールで開催しました。昨年と同様に1会場での開催となりました。

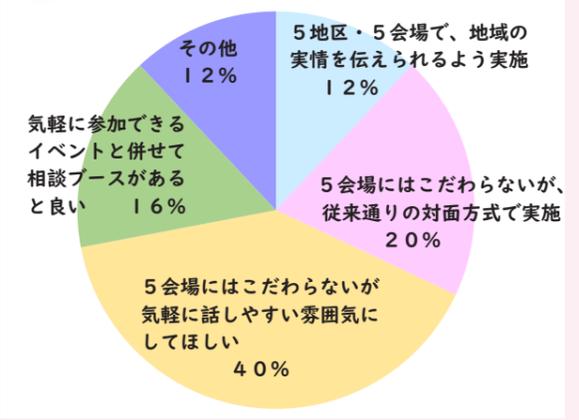
当日は昨年並みの38名の方に参加いただきました。初めて参加された方が65%と半数以上を占めました。

お子さんと一緒に来場された方もいて、和やかな雰囲気の中、開催することができました。

今回参加しようと思ったきっかけは何ですか。(複数回答可)



今後の議会報告会の開催方法はどんな方法なら参加しやすいですか。(複数回答可)



cafe カフェタイム

食改推提供の「キノコの和風ハヤシライス」キノコたっぷりですべてヘルシー!!



議会報告会での活発な質疑のあと、町保健センター管理栄養士の菊地さんによる「減塩セミナー」をご講演いただきました。その後、食生活改善推進協議会にご提供いただいた「キノコの和風ハヤシライス」を試食しながら、参加者の皆さまと議員とで懇談会を行いました。

議会報告会動画配信中

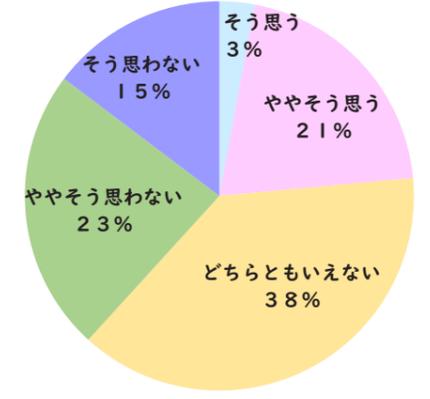
令和7年議会報告会の様子は、下記の2次元コードから動画視聴いただけます。議会報告会にご来場できなかった方もぜひご覧ください。



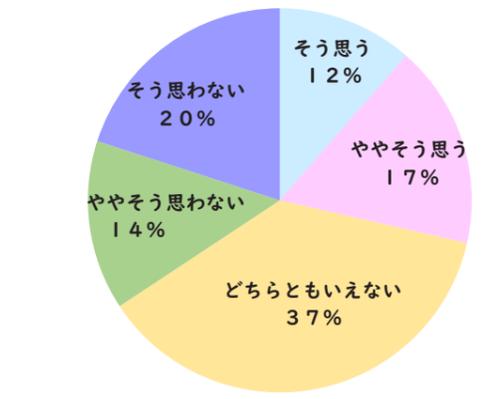
議会報告会参加者のアンケート結果の一部を紹介します。

当日来場者38名
アンケート回答数
事前 16名
当日 22名

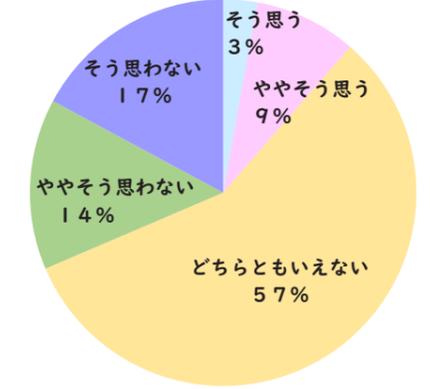
バスや電車などの公共交通は向上していますか



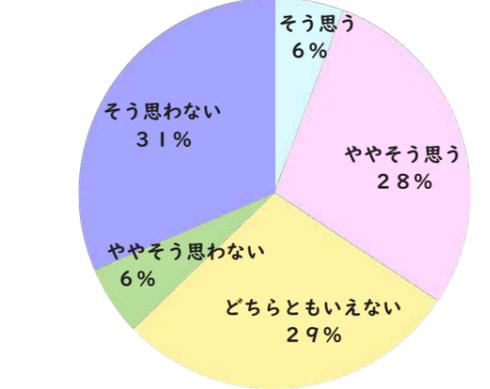
子育て支援など、安心して子どもを育てられるまちですか



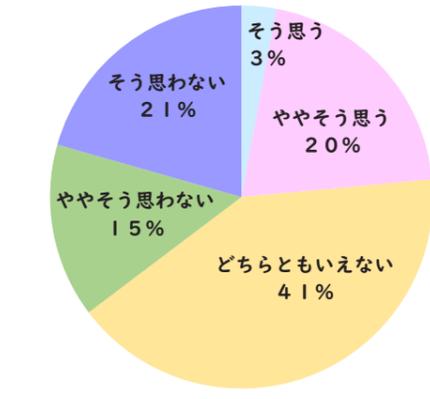
農林水産業の振興とブランド化の推進は図られていますか



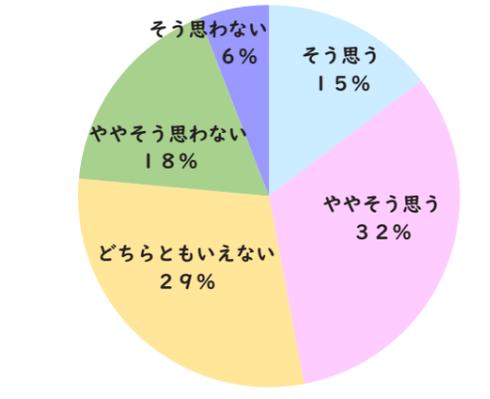
医療福祉のサービスが充実していると思いますか



住民の意見がまちに通りやすいと思いますか



町議会は活動内容の周知に努めていると思いますか



議会や町の回答は？ ～詳しくはHPへ

皆さんからいただいたご意見・ご質問・アンケートの詳細結果は、各公民館で閲覧できるほか、東吾妻町議会ホームページでご覧いただけます。



まちの声

～議会とともに～

議会報告会において
皆さんからいただいたご意見を紹介します！



職員の不祥事の対応について

◆東吾妻町での観光施設の不祥事において、当人は懲戒処分ということで退職されたようだが、議会の皆さんにいうことではないかもしれないが、不祥事に対して町の姿勢が甘いんじゃないかと思っている。町の執行部と議会は車の両輪なので、しっかりやっていただきたい。

太陽光発電施設設置に関する規制について

◆太陽光発電の土地の買収や施設の建設が非常に多くなっている。東吾妻町の現状もあまりにも多くなりすぎて景観に相当影響を及ぼしていると思う。美しい東吾妻町を守ることは重要なことだと思う。現状でも、区長も知らないうちに建設が決まったりすることがある。条例に①区長の了解を得ること②行政区の話し合い、この2つがあればある程度抑制になるのではないかと考えている。

◆太陽光を規制する※条例は東吾妻町にあるのか。ないならば他県の内容などをベースに作ればいいと思う。ある日突然家の隣に太陽光が出来たというようなことを規制すべきではないかと思う。議員の皆さんも放っておかずに進めてほしい。

※現在東吾妻町では「東吾妻町豊かな自然環境の保全及び利用の手続等に関する条例」が制定されています。

町の将来的なビジョンについて

◆農業をやっている立場からすると、この町で農業が担える役割は間違いなくあると思う。子どもの減少やこども園・学校統合でできた空洞を農業を使って埋めるなど、包括的に考えなければならない気がしている。

長期的な視点に立った目標・ビジョンが大事だと思う。未来図みたいなものをつくっていただいて、それを住んでいる人たちと共有できるといいと思う。個人的には大きなビジョンや目標に期待しているし、自分事として関わっていききたいという気持ちはある。

もっと農産物の発信を

◆少子化問題も5年後10年後どうなっているか予測ができると思うので、問題点を把握して町にやらせるのが議員の仕事だと思う。中之条と比較するわけではないが、農産物の生産高は東吾妻町の方が大きい。そういった特徴を発信していかないといけない。農産物関連で東吾妻町の特徴を出せるような動きを農協と連携して作ってほしい。



少子化に伴う教育環境に係る問題について

◆こども園も人数が少なくて、坂上は来年新入園児も1名ということである。統合とかはないのか。

◆小学校統合について、早急に話を進めてほしい。学年で1名のケースがあると聞くと、それでは人間関係や集団生活が学べない。

◆岩島地区では来年度の新1年生が1人しかいない。この状況で学校教育がきちんと機能するのか、子どもの育成に問題がないのか懸念している。いろいろな場面で現状維持ができなくなっていくのは仕方ないが、きちんと議論されているのかが不明瞭に感じている。当事者意識を持っての議論を望む。

◆少人数のためクラス活動もままならない状況があると聞く。学区内の登校が厳しく町外へ引っ越しする方もいる。町の人口減少にも影響がある。町内なら学区外でも通学できるよう議論してほしい。

◆小学校の統合がされていないが、来年度の新入生も少ないと聞いている。子どもからすれば6年間クラスに友達が1～2人しかいない状態で授業や給食やクラブ活動をしていかななくてはならないのは不安でいっぱいだと思う。統合がすぐに実現しないのであれば、町内の人数の多い学校に通わせることも考えてほしい。正式に統合されるまでのお試しになるのではないかと。入院可能な小児科・産科が町内にないのも致命的。すぐに対応できる医者が近くにないと安心して出産には挑めない。

◆子どもが安心して学べる環境ではない。人数が少なくて友達とのコミュニケーションを取れず人間関係に悩む将来が見える。思春期前である小学校から統合をしてほしい。

◆少子化により「ひとり学級」の可能性があると聞いた。「学校選択制」や「例外的な就学許可」等の特例が必要では。ひとり学級は、マンツーマン指導が受けられるメリットもあるが、子どもの体験などはデメリットがある。

◆自然、歴史、文化を後世につなぐためには子どもたちに郷土愛を持ってもらう必要があり、幼少期に育まれた環境や友人関係が郷土愛につながる。同級生が1人や2人ではコミュニケーション力に不安が残り、そんな環境での子育てを望む親はいない。町外へ引っ越ししてしまうケースにもつながり、子育て世

代や若者世代の人口減少を加速させる。学校に関する課題にいち早く取り組む必要がある。

◆町内の子ども数が急激に減っていることに強い危機感を感じる。来年入学する知り合いのお子さんが、同級生がひとりもいないと聞き衝撃を受けた。学校がなくなれば若い世代はさらに町を離れ、地域の活力が失われていく悪循環に入っていく。「この町で子どもを育てたい」と思える環境づくりを最優先に取り組む時期と思う。行政と地域が一体となって取り組む姿勢を見せていただきたい。

◆来春小学生になる子が、クラスメートがいない事態らしい。子どもを中心に考えるなら友達と接する機会を与えるべきで、人数の多い学校に入れるように、柔軟に対応した方がよいと思う。

◆小学校は統合した方が子どもたちのために良いと思う。少人数のクラスはかわいそう。

◆来年岩小1年生が1名しかいない。自分の居住地で子どもが安心して過ごしていても大きなメリットであり、地域推進委員などの協力を得て学校・地域でサポートして行ければ良い。



E V 自動車の充電器について

◆議会だよりの中で、E V 自動車の充電器について記載があったが、東吾妻町の2カ所とも更新するのか。ナビに2カ所表示されるがそれを頼りに来た人が使えなくては困るので、ぜひ予算化して設置をお願いしたい。



役場庁舎前のE V 充電器

令和7年第4回 定例会

令和7年第4回定例会が、12月4日から15日までの12日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、町長から提案された補正予算や条例改正などの議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。町政一般質問には4人が登壇し町政をただしました（13ページをご覧ください）。

令和7年度補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	6430万円	93億6887万円
国民健康保険特別会計	264万円	14億5626万円
事業勘定	264万円	14億5626万円
施設勘定	221万円	7387万円
後期高齢者医療特別会計	80万円	2億7181万円
介護保険特別会計	101万円	19億3952万円
下水道事業会計	490万円	4億9211万円
収益的支出	490万円	4億9211万円
簡易水道事業会計	76万円	1億321万円
収益的支出	76万円	1億321万円
資本的収入	2600万円	2億3500万円
資本的支出	2636万円	2億2130万円



一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出それぞれ6430万円を追加し、総額を93億6887万円としました。職員の給与に関する条例等の改正に伴う人件費追加のほか、主なものとして、有害鳥獣捕獲補助や鳥獣被害対策伐採事業補助などのクマ対策費として430万円の追加、町単小規模土地改良事業として550万円の追加、いわびつ荘の修繕費用に239万円の追加がありました。また、広域町村圏火葬場負担金は792万円の減額、中学生海外交流事業は310万円の減額などとなりました。町村合併20周年の企画として、小学校副読本『ふたりのそうさく』作成費として100万円計上されました。

国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、事業勘定の歳入歳出それぞれ264万円を追加し、総額を14億5626万円としました。国保から社会保険へ変更した方などへの還付金の追加が主な内容です。また施設勘定の歳入歳出それぞれ221万円を追加し、総額を7387万円としました。職員の給与に関する条例等の改正に伴う増額です。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ80万円を追加し、総額を2億7181万円としました。人間ドック助成事業費の追加です。

介護保険特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ101万円を追加し、総額を19億3952万円としました。税制改正等に対応するためのシステム改修費などの追加です。

下水道事業会計補正予算（第1号）は、収益的支出に490万円を追加し、総額を4億9211万円とするものです。人件費の追加が主なものです。

簡易水道事業会計補正予算（第1号）は、収益的支出に人件費76万円を追加し、総額を1億321万円とするものです。収入は企業債など2600万円を追加し、総額を2億3500万円としました。資本的支出は建設改良費として2636万円追加し、総額を2億2130万円としました。

条例改正

東吾妻町議会議員及び東吾妻町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 →公職選挙法施行令の改正に伴う、選挙運動用ピラ・ポスター作成単価の改正
東吾妻町監査委員条例等の一部を改正する条例 →地方自治法および関係政令の改正に伴い、関係する町の条例の条文番号の整理を行うもの
東吾妻町火入れに関する条例の一部を改正する条例 →字句の訂正および様式の訂正を行うもの
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 →人事院勧告に準拠し、期末手当を増額する改正
東吾妻町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 →人事院勧告に準拠し、期末手当を増額する改正
東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 →人事院勧告に準拠し、給与および期末・勤勉手当等を増額する改正
東吾妻町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 →人事院勧告に準拠し、報酬の上限額および期末手当を増額する改正
東吾妻町自転車型トロッコ施設「アガッタン」の設置及び管理に関する条例 →自転車型トロッコ施設「アガッタン」の施設管理が指定管理に移行するにあたり、設置および管理に必要な事項を定めるための条例を制定するもの
東吾妻町税条例の一部を改正する条例 →地方税法等の改正に伴い、公示送達の方法および加熱式たばこに係るたばこ税の規定の改正と、特定親族特別控除の創設に伴う改正を行うもの
東吾妻町簡易水道事業給水条例及び東吾妻町水道事業給水条例の一部を改正する条例 →災害およびその他の非常時における例外規定を定める改正
東吾妻町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 →「こども誰でも通園制度」の創設に伴い、設備および運営についての最低基準を定めるもの
東吾妻町保育所の設置及び管理に関する条例及び東吾妻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例 →乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を保育所において実施するための規定の改正、および利用者負担金を利用料として徴収することを規定する改正
東吾妻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 →児童福祉法の改正に伴い、関係する町の条例の改正を行うもの
東吾妻町育英条例及び東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 →東吾妻町育英審議会の廃止に伴う改正

質疑

問 小林光一 議員
アガッタンの利用料について、町民が利用する場合とそれ以外の場合で料金が異なるが

混在する場合も考えられる。その場合はどのような判断をしているのか。

答 まちづくり推進課長
利用申請者の住所で判断をしている。

財産処分

財産の種類	土地
財産の所在地	東吾妻町大字矢倉字本村554番地3
地目	宅地
処分面積	5,738.59㎡
処分金額	33,863,420円
処分の相手方	群馬県前橋市総社町1丁目4番6号 群馬電工株式会社 代表取締役社長 石毛 文夫



旧岩島第一小学校跡地

指定管理者の決定

自転車型トロッコ施設「アガタン」



指定管理者 宮城県仙台市青葉区立町1番2号
株式会社 東武
代表取締役社長 尾形 衛
令和 8年4月 1日から
令和13年3月31日まで

指定期間

質疑

問 小林光一 議員
この観光事業は唯一の収益事業なので、指定管理料が、5年で約5800万円であるが、縮減すべきではないか。

答 まちづくり推進課長
見込額であり確定額ではない。経営が軌道に乗れば、指定管理料は削減できる。黒字の場合は収益の4分の1が町に納付される。

問 佐藤聡一 議員
なるべく早く経営を黒字化して、町の負担を少なくしていくことを、指定管理者に強く働きかけてもらいたい。

答 町長
指定管理料の改善に向け、協議を続けていきたい。

問 井上日出来 議員
町としても、黒字化に向けしっかり取り組んでいく。

答 企画課長
指定管理者選定委員会での選定の答申について、選定理由を答申内容に入れるよう検討していただきたい。

現在は指定管理者選定委員会で事業者を評価し、5段階の総合評価と優先順位の結果のみ公表となっている。今後は守秘義務も考慮に入れた中で、公表内容を検討していきたい。

問 竹淵博行 議員
道の駅といかに上手に連携を取っていくかが重要になってくる。町の商工事業者が潤う取り組みを期待したい。また、指定管理に移行するにあたり、現在のスタッフは引き継がれるのか。

答 まちづくり推進課長
道の駅との連携はしっかりやっていかなければならないものと捉えている。地域の連携も、道の駅だけでなくハッ場ダム周辺地域も含めて展開を考えていきたい。5年以内に黒字に持っていけるよう町でも努力していきたい。スタッフについては、本人の希望で継続できるよう進めたい。

問 里見武男 議員
トロッコの運行の仕方を改善すれば人件費を削減できると思うが。

答 町長
安全管理などを考慮しながら、効率よく運行できるように考えていきたい。

あづま温泉桔梗館



指定管理者 群馬県渋川市赤城町敷島44番地
ライジングプロモーション株式会社
代表取締役 須田 公次
令和 8年4月 1日から
令和13年3月31日まで

指定期間

質疑

問 竹淵博行 議員
第2交渉権者は地元の事業者だが、指定管理者選定委員会の評価は同じB判定であった。優先順位が付いた理由は何か。地元の事業者を育てていくことにも取り組んでいただきたい。

答 企画課長
B判定の範囲でも評価項目ごとに点数があり差が付いたということである。今後、指定管理での運営を行う中で、公募によらない方法も検討したい。

答 町長
竹淵議員の意見を参考に進めていきたい。



一般質問は
こちらから

町政を問う！

今定例会では4名が登壇しました。

- P14・・・増子 京子 議員 町における物価高対策に水道料金の減免を
- P15・・・齋藤 貴史 議員 町の知の拠点を未来仕様に—図書館の充実を問う—
- P16・・・井上日出来 議員 中学生が希望する「オンライン自習室」の設置を
- P17・・・佐藤 聡一 議員 空き家、移住対策、農地利用を一体化した政策を

一般質問とは

定例会において議員が行政全般にわたり町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、答弁を求めることです。一般質問は通告書に基づいて行われます。

請願・陳情についての報告

12月 定例会



議会では、皆さんから提出された請願・陳情を慎重に審査しています。採択した中で、町執行部へ送るべきものは速やかに送付し、要望の実現が図られるよう議会の意志を伝えています。これに対し実施の可否は町の判断になりますが、処理経過を報告することが義務付けられており、議会に報告がありました。

No.	請願・陳情名	採択議会	担当課	処理状況
1	町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月第3回定例会	建設課	未決
2	日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情	令和元年9月第3回定例会	建設課	処理中
3	東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情	令和元年9月第3回定例会	学校教育課	処理中
4	町道5242号線（郷原古谷地内）改良の請願	令和2年6月第2回定例会	建設課	処理中
5	河川からの越水被害に関する陳情（川戸上之宮地内）	令和2年12月第4回定例会	建設課	処理中
6	上之町区内の道路を拡幅して頂きたい請願（群馬原町駅から中央公民館付近）	令和6年9月第3回定例会	建設課	未決
7	町道長寿園線に関する請願	令和6年12月第4回定例会	建設課	未決

採択から10年以上経過した請願・陳情の処理経過は省略します



ましこ きょうこ 増子京子議員

Question 町における物価高対策に 水道料金の減免を

Answer 前向きに検討していく

わが町における物価高対策について

問 国からの重点支援地方交付金を効果的に活用すべきである。政府の物価高対策の推奨メニューにもある『期間を決めた水道基本料金の減免』は事務的費用もかからず、スピード感を持って実行できる。どの世帯も平等に恩恵が受けられる施策なので、町全体のモチベーションも上がるのでは。

町長 水道基本料金の減免は、物価高騰の影響を直接受けている町民の皆さまの生活を下支えするものであり、

生活者への経済支援として有効な対策の一つだ。組合営水道や自家水道利用世帯への支援も含め前向きに検討していく。

中央公民館の改善点について

問 町民の方から中央公民館使用時のご意見をいただいた。①多目的トイレには保護者が用を足す際に子どもを座らせておくベビーチェア、おむつ替え用の折り畳み式ベッドなどが必要だと思うが。②館内の飲食は禁止なのか。また大丈夫であれば、飲食スペースに分かりやす

い表示を。③畳のスペースは利用者がいなければ、おもちゃなど持ち込んで遊んでも良いか。館内のルールは、分かりやすくしっかりと決めて表示し、皆さまに安心して使っていただけるよう細やかな配慮をお願いしたい。

町長 ①は大変有効な設備であるので、実現可能性を丁寧に確認した上で判断していく。②③に関して、飲食は禁止しているわけではなく、畳スペースのおもちゃ持ち込みも差し支えない。利用ルールの明確化や表示方法の改善を行い安全安心の確保に努めてまいりたい。



ベビーチェア



おむつ替え用の折り畳み式ベッド

Question 知の拠点を未来仕様に 一図書館の充実を問うー

Answer 大変重要なテーマ 段階的に検討していく

「生涯学習」「地域の知」を支える公立図書館について、住民ニーズと施設機能との間に大きなギャップが生じている。昨年11月の中学生議会でも機能拡充への要望が寄せられた。これは単なる“便利な施設”への希望ではなく、学びや交流を通じて“誇りの持てる東吾妻町で暮らしたい”という深い願いである。全国では財政が厳しい自治体でも積極的に未来志向の図書館整備を進めている事例もある。

問 町図書館は本の貸し借りの他にどんな利用がされているか。

町長 各公民館が連携しての図書交換事業の実施、ブックスタートによる子どもの読書環境整備など。学びを支える場として機能を維持向上させてきた。

問 全国では公立図書館は「知の拠点」として地域活性化の核と捉えられている。町長の考えは。

町長 公立図書館は生涯学習の拠点であり、地域の交流

や課題解決を促す場と考える。地域コミュニティの中心的役割を担い、多様な政策と密接に関わる。

問 中学生議会では図書館・自習スペース・交流拠点の機能を持った複合施設の設置を望む声が大きかった。将来を担う中学生へ向けた答弁を願う。

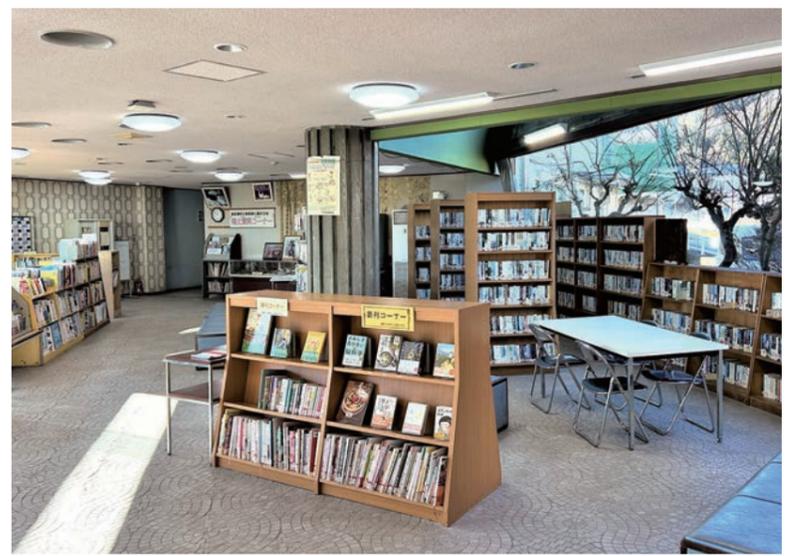
町長 旧庁舎跡地を活用した複合施設の構想が示された。将来の町を担う世代が町の未来像を真剣に考え具体的な提案をしてくれたことに大変心強さを感じる。課題があるが、重要な視点であり、

今後の検討材料としていく。

問 財政状況が苦しい中でも全国で未来志向の図書館が増えている。「未来への投資」として検討してもいいのではないか。

町長 財政事情は厳しいが、機能を強化することも重要。大変重要なテーマとして他自治体の事例も参考にしながら段階的に検討していく。

※他に「デジタル時代のガバナンス強化ーICTシステムの最適化とコスト適正化について」の質問も行った。



現在の町図書館（中央公民館1階）



井上日出来議員

Question 中学生が希望する 「オンライン自習室」の設置を Answer 研究課題として考えていきたい

人口流出の一因は高等教育

町内には一般高校がなく、子どもの進学と同時に世帯転出するケースも少なくない。当町は子育て支援を強化してきたが金銭的支援だけでなく、ソフトとハード両面から教育に関する環境整備への取り組みが必要と考える。

問 町の教育環境における現在の課題と解決策はどのように考えているか。

町長 学校施設の計画的な整備と小学校再編が課題である。小学校統廃合に関する進捗状況は現在、行政内部にて小学校再編に関する方針の素案を策定中である。

問 町の教育環境へのリクエストやニーズ調査、また小学校統廃合への意見など「当事者の声」を集約するための保護者へのアンケート調査は実施されたか。

町長 総合計画、総合戦略、子ども・子育て支援事業計画、学校評価などにおいて意識調査を実施し、教育分野の回

答や自由意見などで住民意向を確認してきた。

問 11月に開催された中学生議会で中学生から「オンライン自習室の設置」の意見が出され、その内容は具体的かつ秀逸であった。自習に適した施設を持たない当町にとり、これは中学生の願いであると考えられる。このプランを参考に町と学校関係者で実現に向けた協議をしていただきたい。

町長 中学生の発想には誠に感心するものがある。指導や実施体制、情報保護など、教育上の観点から課題もあり、研究課題として考えていく。



中学生議会の生徒の発表

問 現在、町の財政調整基金は30億円以上ある。そのうち10億円を国債に充てると年1900万円（定例会時）の配当がある。この配当金を当町から高校・大学に進学する学生の給付型奨学金（返済不要）という新たな支援策として事業化してはどうか。

町長 町では無利子の育英資金を準備し、通学定期代補助金など経済的負担の軽減を図っており、今後も継続していきたい。新たな支援策、その財源については一つの提案として受け止めたい。

Question 空き家、移住対策、農地利用 を一体化した政策を Answer 移住希望者と地元をつなぐ 一体化を推進する

問 先日中学生議会の中で「耕作放棄地を活用してくれる人材をGETする」という発表提案があった。これはいろいろな事柄を連携した素晴らしい提案であった。町では、企画課、まちづくり推進課、農林課、建設課等で関連した活動をしているが、各担当者同士の意見交換や研修を行い、移住者を増やす努力、空き家対策、人口減問題、地元農業者との関係性を強め、当町の昔からの主力産業である農林業の再生を進めては。

町長 町の将来を担う中学生からの提案は、大変心強く受け止める。一体的な推進の重要性は、創生会議の事業評価でも出ている。今後農業委員会、JAあがつま、担い手農家、吾妻農業事務所、移住コーディネーター、農林課、企画課などで構成した「農業担い手受入協議会」で検討し、移住希望者と農地所有者・地域農業者をつなぎ、空き家、移住、農地利用の一体化を推進する。

問 町長は4月に4期目の任期が終わろうとしている。就任以来、行財政改革では施設の指定管理移行、榛名吾妻荘の売却、岩櫃ふれあいの郷の役場本庁舎への転用改築、財政調整基金では平成23年の14億5500万円から令和6年には35億300万に増額、東日本大震災では南相馬市への対応、教育関係では5中学校統合、給食センター建設、幼保一元化のことも園、給食費無料化、ハツ場ダム完成、上信建設で川戸・原町インター設置、ふるさと大橋完成、箱島湧水小水力発電所建設等、4期の中で

素晴らしい実績を残した。任期満了を控え、今後の町長の意味を伺いたい。

町長 4月で4期16年の任期を終えることに感謝する。2011年東日本大震災で被災者を国内でいち早く迎え、長期間の支援をいただいた町民に感謝、2015年には5中学校を統合、開校式では満場の生徒が歌う新校歌を万感の思いで聴いた。その他給食費無料化、子育て、若者支援等を行い75歳を迎えた。今後は、商工、観光等に国事業を導入した若い世代にバトンタッチを考えたい。



佐藤聡一議員



空き家バンクに登録されている住宅と農地

特別委員会 其他の活動

上信自動車道関連工事の現地視察

12月10日上信自動車道建設事務所の協力により、上信自動車道吾妻東バイパスの整備状況を現地視察しました。

最初に箱島インターチェンジ橋の施工状況を視察しました。次に植栗・中之条インターチェンジ橋上部工、最後に川戸地区の深沢橋上部工の工事状況を視察しました。説明員の方からは、橋げた工事の施工方法や使われているコンクリートの種類などの説明を受けました。いずれの現場も着々と工事が進んでいることが確認できました。



箱島インターチェンジ橋

議会報告会・中学生議会終了 ～議会運営委員会

議会報告会は11月9日にコンベンションホールで開催しました。11月20日には中学生議会を実施しました。中学生の皆さんからは貴重なご意見をいただきました。議員全員協議会において議員一人一人から感想をいただき、いずれも非常に前向きなものでありました。準備や当日までの過程は大変でしたが、実施して良かったと感じています。議会報告会の開催方法については、今回の経験を踏まえ、開催場所や回数を含めて内容をさらに充実させるよう改善を進めていきます。



議会報告会

群馬県町村議会議員研修会

11月5日に、玉村町文化センターで開催された群馬県町村議会議員研修会に参加し、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授湯浅壱道氏の「地方議会のデジタル化の意義と課題」と、政治ジャーナリスト 細川隆三氏の「時局展望」の講演を聴きました。



玉村町文化センターでの研修

常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

総務建設常任委員会

自転車型トロッコ「アガタン」 新規指定管理者が決定

定例会中の委員会では、2日間にわたり所管8課の議案調査を行いました。特に自転車型トロッコ施設「アガタン」の新規指定管理者指定については今後の観光振興と施設運営に大きく関わる案件として審査するとともに、防災、過疎対策、農業支援などについてさまざまな議論が行われました。



吾妻峡周辺地域振興センター

今回の委員会 注目3事業!!



「アガタン」早期黒字化を
自転車型トロッコ施設「アガタン」の指定管理者の決定にかかる説明を受けました。民間力を活かした経営改善と集客力を高めての早急な黒字化を求める意見が多くありました。

消防費補正予算増額へ
火災多発に伴う消防費増額や遊休資産の進捗、公式LINEの運用開始予定について説明を受けました。委員からは防災訓練の改善、コンプライアンス研修の在り方などの質疑がありました。

農業者への物価高騰支援
農地改良事業や農業者への物価高騰支援に加え、熊を含む鳥獣被害対策の状況説明がありました。また移住者農作業受託事業や里山整備を通しての農地維持の重要性が確認されました。

文教厚生常任委員会

子どもたちの安全確保と スポーツ振興などを審議

12月定例会において、教育環境の充実や子どもたちの安全、地域施設の活用、スポーツの振興など、町民生活に深く関わる事項について調査と質疑を行いました。委員会での主な審議内容をお知らせします。



熊よけホーン・クマ鈴・クマスプレー

**学校再編と子どもたちへの
教育的配慮**
通学区域の配慮に加え、いじめや不登校などにも柔軟に対応していると説明がありました。また現在、中学校での不登校割合は全体の4%で、全国平均を下回っているとのことです。

**学校給食への
地域資源の活用**
学校給食について、地元農産物を積極的に活用すべきとの意見が出されました。米については、学校給食会の基準に基づき、安全で安定した給食提供に努めていることを確認しました。

**熊対策と
子どもたちの安全確保**
学校や保育所などに設置された、クマスプレーやホーンの管理状況を確認しました。また、各施設においてクマスプレー噴射訓練の実施を要請しました。

今回の委員会 注目3事業!!



まちの声

Voice of the town



「上信道によせて」

宮崎 要平 さん(萩生)

もうすぐ、吾妻川のほとりに黄色のジュータンが敷き詰められる季節がやってきます。爽やかな香りを放つ水仙と繊細なピンク色の桜とのコラボレーションは、春の訪れを体いっぱいを感じる大好きな風景です。

寒かった冬の期間、進められてきた上信自動車道の工事は、その全容が素人でも分かるほど完成に近づき、重機が快音をうならせて急ピッチで作業が進んでいます。工事完成後には、新しい何かが起きるのではないかと予感して胸の高鳴りを覚えます。

本線から延びた大きくたくましい道は、町を活性化し、魅力的な企業が進出してくれるのではないかと。日本人行楽客だけでなく、観光立国を勧める国や県のように訪日外国人観光客をも呼び込むことができるのではないかと。また衰退する農業が大消費地へのスピーディーなアクセスで復活するのではないかと。さらに近年、本県は移住希望者ランキング全国1位を獲得し注目を集めているが、人口減少が進むこの町も自

然の素晴らしさと利便性の向上により移住希望者が増えるのではないかと。また全線開通した暁には、今では考えもしなかった新しいカルチャーが生まれ根付くのではないかなど、この町に期待以上の変化が訪れるのではないのでしょうか。

一方心配なことは、いわゆる「ストロー効果」(「ストロー効果」：高速道路が開通すると地域住民や観光客が大都市圏などの機能が充実した地域へ短時間で流出してしまう現象)により従来の立ち寄り地を素通りされ、地元の商店街の衰退や観光客の減少が起きてしまうのではないかとという危機感があります。

ポジティブのなかでの不安はあるものの、上信自動車道の全線開通は、多種多様な夢をたくさん持った強固で創造をかき立てる希望の道であり、いずれこの道によって芽生えた種は大きく成長し、つぼみを膨らませ立派な花が咲くことが今から大変待ち遠しく思います。

春を待つ、親水公園の水仙畑のように・・・。

議会を傍聴してみませんか!

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は3月3日開会予定

3月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 ←	4	5	6	7
		本会議	本会議	常委	常委	
8	9	10	11	12	13	14
	特委	特委	全協特委	休会	休会	
15	16	17	18	19	20	21
	本会議	本会議				

*予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編集後記

これから少しずつ、春の足音を感じる季節となつてまいります。といっても東吾妻町は、まだまだ厳しい寒さです。わが町のシンボル岩櫃山の木々や花々も厳冬に耐え、やがて桜色や新緑に姿を変えながら私たちを楽しませてくれることでしょう。これからも『みんなの議会』が岩櫃山のように皆さまから親しまれる広報となるようさらに精進してまいります。今後の『みんなの議会』にもどうぞご期待ください。(増子 京子)

議会広報特別委員会

- 委員長 重野 能之
- 副委員長 齋藤 貴史
- 委員 増子 京子
- 委員 井上日 出来
- 委員 高橋 徳樹
- 委員 小林 光一
- 委員 竹淵 博行

